



ひんやりとした心地よい風が吹き始め、セミの鳴き声は聞こえなくなり、秋の虫が涼しげな音色を奏でています。季節はもう、秋ですね。食欲の秋、勉学の秋、芸術の秋、スポーツの秋・・・いろいろありますが、やっぱり秋と言えば・・・『読書の秋』ですね！

27日から2週間は、読書週間です。終戦まもない1947年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中で「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社や書店、図書館、そしてマスコミも加わって開催されたこの読書週間も、今年で70回目となります。

そんな記念すべき第70回の今年のテーマは、『いざ、読書。』

朝晩過ごしやすいこの季節、スマホもそっと脇において、いざ、読書！！

新着本の紹介



図書館に新しく入ってきた本を3冊紹介します。



「セクシュアルマイノリティ 1 セクシュアルマイノリティについて」

「セクシュアルマイノリティ 2 わたしの気持ち、みんなの気持ち」

「セクシュアルマイノリティ 3 未来に向かって」

セクシュアルマイノリティについて、とてもわかりやすく書かれています。好きになる性と、心の性は別物っていうこと。また、男と女の枠にはまらない人たちがいるということ。また、セクシュアルマイノリティと言われる子どもたちが、自分の性のことにとても悩んで誰にも相談できず、自分を追い込んでいること。そしてまた、そういう状況は、周りの人たちが作り出しているっていうこと。知らないでいることが偏見や差別を生んでいるという現実。

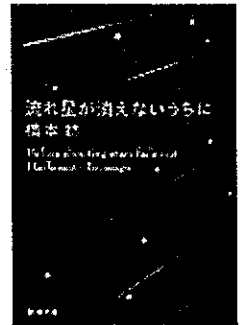
セクシュアルマイノリティと言われる人たちは、特殊な人たちというのではなく、ごくあたりまえに、すぐ隣にいる存在なんです。自分らしく生きることができず、心悩ませて生活している人たちがいるということ、すべての人たちが知る必要があると思います。ぜひ図書館に足を運び、この本を手に取り、理解を深めてください。



1年A組

「流れ星が消えないうちに」橋本 紘

忘れない、忘れない。あの笑顔と、一緒に過ごした時間の光景を。
そして流れ星にかけた願いを。高校で出会った、加地君と巧君と奈緒子。けれど突然の事故が、恋人同士だった奈緒子と加地君を、永遠に引き離した。加地君の思い出を抱きしめて離さない奈緒子に巧君は、そっと手を差し伸べるが...



2年H組

ヤキモチの答え 藤谷 火登子 角川ビーンズ文庫

主人公の望月 蒼太は同学年で美術部の早坂あかりに一目ぼれし高3の時に告白しました。しかしあかりは蒼太のことをまだよく知らないのです。まずは友達から始めようとなりそれから決めようとなりました。それから蒼太とあかりのやりとりがドクドクハラハラする物語です。他にも瀬戸口 優が榎本夏樹に告白にしたりなど学園生活のラブコメです。
僕は望月蒼太と早坂あかりのやりとりがドクドクしたり面白かったりした所が青春だなと思います。
そしていろんな人達が恋愛関係に陥ってこんな学園生活したいなと思うのでぜひ読んでください。



9月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
38人	32人	213人	283人

3年生は推薦入試を迎え、出願書類の準備などで利用している人が多いようです。もうすぐ中間テストも始まります。自習のための机も常設してあるので、マナーをしっかりと守って、試験勉強にぜひ利用してくださいね。